（別紙4（2））

事業所名　シルヴァーリージャ

作成日：令和　2年　1月　20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	行きたい時に行きたい場所への外出支援ができていない。 身体的な状況の変化や、人員、車両なのどの確保の問題もあるが日常的な外出の頻度が減っている。	・2か月に1度のペースで複数の入居者が同時に外出の機会が持てるようになる ・日常的な外出の機会が増えるようになる	・外出を視野に入れた行事計画の作成 ・日頃の生活の中で、入居者の行きたい先の話題をするようにして、分かったもの考えた物を記録に残していく ・面会の際や担当者会議などでも、外出についての話題を加えていく	12ヶ月
2	13	災害訓練の実施はあるが、まだまだ不十分な点がある。地域と共同で訓練を行うまでには至っていない。	・地域の方々にも協力してもらい、訓練を行うことで有事の際の幅広い避難準備ができるようになる	・地域のサロン「語ろう会」開催時に避難訓練を実施する ・新年度の消防団役員の方と相談し避難訓練に向けた計画を立てる（消防団の方に施設見学をしてもらうなど）	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
注）完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。